



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 佐田建設株式会社  
コード番号 1826 URL <http://www.satakensetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 徹  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 田島 順一

TEL 027-251-1551

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	16,990	△4.2	△433	—	△438	—	△439	—
22年3月期第3四半期	17,738	△23.2	△452	—	△488	—	△518	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△5.67	—
22年3月期第3四半期	△6.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	16,583	4,248	25.6	54.77
22年3月期	17,135	4,687	27.4	60.44

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,248百万円 22年3月期 4,687百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,250	1.6	△370	—	△390	—	△410	—	△5.28

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 77,606,166株 22年3月期 77,606,166株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 45,308株 22年3月期 40,550株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 77,564,625株 22年3月期3Q 77,570,327株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復基調にあるものの、依然としてデフレ状況から脱することができず、失業率についても高水準にあり、また、資源価格の上昇や円高の進行による輸出企業への悪影響が懸念されるなど、引続き厳しい状況で推移しました。

建設業界におきましては、民間設備投資の抑制姿勢や公共投資の縮減継続などにより、受注競争は激化し、依然として厳しい受注環境となりました。

当社グループはこのような状況下、厳しい事業環境を乗り越えるべく、「中期経営計画」の遂行に最大限の努力を継続してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

土木関連の受注高は60億1千5百万円となりました。売上高は63億5千9百万円で、売上総利益は2億8千7百万円となりました。

建築関連の受注高は130億2千3百万円となりました。売上高は106億3千1百万円で、売上総利益は2億9千7百万円となりました。

全体として、受注高は、土木・建築関連共に順調に受注が獲得できたこと、並びに建築民間工事において特に受注が獲得できたことにより、前年同四半期に比べ55億1千6百万円増加し190億3千8百万円（前年同四半期比40.8%増）となりました。

売上高は、前年同四半期に比べ7億4千8百万円減少し169億9千万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

営業損益は、工事原価の圧縮や販売費及び一般管理費の削減努力は継続して行っているものの、引続く受注価格競争や建設事業における季節的変動要因等より、4億3千3百万円（前年同四半期比4.3%減）の営業損失となりました。

これにより、四半期純損益も4億3千9百万円（前年同四半期比15.2%減）の四半期純損失となりました。

また、建設事業におきましては、契約により工事の完成引渡しが第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第4四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金預金（13億1千7百万円）の増加や受取手形・完成工事未収入金（6億1千万円）及び未成工事支出金（9億1千6百万円）の減少等により、前連結会計年度末に比べ5億5千2百万円減少し165億8千3百万円（前期比3.2%減）となりました。

負債総額は、支払手形・工事未払金（7億8千4百万円）の増加や短期・長期借入金（8億8千1百万円）の減少等により、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円減少し123億3千5百万円（前期比0.9%減）となりました。

純資産は、四半期純損失4億3千9百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億3千9百万円減少し42億4千8百万円（前期比9.4%減）となりました。

これにより、自己資本比率も前連結会計年度末に比べ1.8ポイント減少し25.6%となっております。

当第3四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前連結会計年度末に比べ13億1千7百万円増加し48億7千万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況等につきましては次のとおりです。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ3億1千万円増加し22億3千4百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少6億1千万円及び未成工事支出金の減少9億1千6百万円、仕入債務の増加6億5千9百万円であり、支出の主な内訳は、未成工事受入金の減少3千7百万円であります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ7百万円減少し2千8百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

これは、主に有形固定資産等の取得によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ12億2千4百万円減少し8億8千8百万円（前年同四半期比58.0%減）となりました。

これは、主に短期及び長期の借入金返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

建設業界におきましては、公共投資の縮減や民間設備投資の抑制により、依然として厳しい環境が続くものと予測されますが、現時点において連結業績予想の変更は行っておりません。

当社グループは、直面する事業環境に打ち勝ち、安定した利益が確保できる企業体質を構築し、技術と品質の強化を推進するとともに、顧客の信頼と満足に応える企業を目指して、全社を挙げて「中期経営計画」の施策を継続してまいります。

なお、「中期経営計画」を進める中で、厚生年金基金の解散認可が当期中に決定する見込みではありませんが、現時点において、解散認可に伴う特別利益金額の算出等は困難なため、解散認可が決定し金額の算出が出来次第、改めて公表する予定です。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

重要な子会社の異動はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	4,950	3,632
受取手形・完成工事未収入金	6,078	6,688
未成工事支出金	54	970
材料貯蔵品	103	102
その他	530	816
貸倒引当金	△7	△19
流動資産合計	11,709	12,191
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,505	1,560
土地	2,847	2,847
その他(純額)	163	177
有形固定資産計	4,516	4,585
無形固定資産	40	43
投資その他の資産		
投資有価証券	252	249
破産更生債権等	1,656	6,650
その他	65	66
貸倒引当金	△1,656	△6,650
投資その他の資産計	317	315
固定資産合計	4,873	4,944
資産合計	16,583	17,135
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	5,659	4,875
短期借入金	1,135	1,857
未成工事受入金	799	837
完成工事補償引当金	2	3
賞与引当金	26	68
工事損失引当金	—	226
債務保証損失引当金	145	149
事業構造改善引当金	4	30
その他	373	478
流動負債合計	8,147	8,526

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	80	240
繰延税金負債	48	48
再評価に係る繰延税金負債	588	588
退職給付引当金	3,425	3,009
その他	44	34
<b>固定負債合計</b>	<b>4,188</b>	<b>3,921</b>
<b>負債合計</b>	<b>12,335</b>	<b>12,447</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,886	1,886
資本剰余金	2,048	2,048
利益剰余金	△500	△60
自己株式	△3	△3
<b>株主資本合計</b>	<b>3,430</b>	<b>3,870</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	0	0
土地再評価差額金	817	817
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>817</b>	<b>817</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,248</b>	<b>4,687</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>16,583</b>	<b>17,135</b>



## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	17,738	16,990
売上原価	17,008	16,405
売上総利益	730	585
販売費及び一般管理費	1,183	1,018
営業損失(△)	△452	△433
営業外収益		
受取利息配当金	2	1
還付加算金	—	7
保険配当金	4	3
その他	7	8
営業外収益合計	14	21
営業外費用		
支払利息	35	24
支払手数料	7	1
その他	5	0
営業外費用合計	49	26
経常損失(△)	△488	△438
特別利益		
固定資産売却益	2	—
貸倒引当金戻入額	18	22
債務保証損失引当金戻入額	2	3
特別利益合計	23	25
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	1	—
和解金	33	—
特別損失合計	34	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△499	△413
法人税、住民税及び事業税	19	25
法人税等合計	19	25
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△439
少数株主損失(△)	△0	—
四半期純損失(△)	△518	△439

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,597	8,102
売上原価	8,305	7,864
売上総利益	292	238
販売費及び一般管理費	395	333
営業損失(△)	△103	△95
営業外収益		
受取利息配当金	0	0
その他	3	2
営業外収益合計	3	2
営業外費用		
支払利息	14	8
その他	3	—
営業外費用合計	17	8
経常損失(△)	△117	△100
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3	2
債務保証損失引当金戻入額	—	0
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	1	—
和解金	33	—
特別損失合計	34	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△148	△99
法人税、住民税及び事業税	3	10
法人税等合計	3	10
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△109
四半期純損失(△)	△152	△109

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△499	△413
減価償却費	113	100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	△5,005
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△41
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△8	△226
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△4	△4
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	—	△25
退職給付引当金の増減額(△は減少)	531	416
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△0	4,994
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	35	24
売上債権の増減額(△は増加)	6,264	610
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△2,320	916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,825	659
未成工事受入金の増減額(△は減少)	497	△37
その他	△772	347
小計	1,993	2,310
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△33	△31
法人税等の支払額	△37	△46
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,924	2,234
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	10	—
有形固定資産の取得による支出	△43	△28
有形固定資産の売却による収入	2	—
投資有価証券の売却による収入	9	—
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21	△28
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,950	△721
長期借入金の返済による支出	△160	△160
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,112	△888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△209	1,317
現金及び現金同等物の期首残高	4,739	3,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,529	4,870

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 連結受注高・完成高・繰越高

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第3四半期連結累計期間	当 四 半 期 平成23年3月期 第3四半期連結累計期間	増 減 金 額	前年同期比	(参考) 前期 平成22年3月期	
	金 額	金 額			金 額	
建設事業	受注高	百万円 13,521	百万円 19,038	百万円 5,516	% 40.8	百万円 20,608
	完成高	17,738	16,990	△ 748	△ 4.2	27,809
	繰越高	16,414	15,477	△ 936	△ 5.7	13,430

## 個別部門別受注高・完成高・繰越高

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第3四半期累計期間		当 四 半 期 平成23年3月期 第3四半期累計期間		(参考) 前期 平成22年3月期	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
受注高	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	土木工事 4,845	42.5	5,384	31.8	7,428	41.8
建築工事	6,558	57.5	11,557	68.2	10,342	58.2
合 計	11,404	100.0	16,942	100.0	17,770	100.0

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第3四半期累計期間		当 四 半 期 平成23年3月期 第3四半期累計期間		(参考) 前期 平成22年3月期	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
完成高	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	土木工事 6,429	43.0	5,797	38.5	10,835	45.9
建築工事	8,538	57.0	9,248	61.5	12,758	54.1
合 計	14,967	100.0	15,045	100.0	23,594	100.0

項 目	前年同四半期 平成22年3月期 第3四半期末		当 四 半 期 平成23年3月期 第3四半期末		(参考) 前期 平成22年3月期	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
繰越高	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	土木工事 7,508	49.5	5,271	35.6	5,685	44.1
建築工事	7,650	50.5	9,523	64.4	7,213	55.9
合 計	15,159	100.0	14,795	100.0	12,899	100.0

## 個別 受注・完成・繰越工事高の状況

項 目			前 年 同 四 半 期 平成22年3月期 第3四半期累計期間			当 四 半 期 平成23年3月期 第3四半期累計期間			増 減 金 額	前 同 期 年 比	( 参 考 ) 前 期 平成22年3月期			
			金 額	構 成 比		金 額	構 成 比				金 額	構 成 比		
受注工事高	土木	官公庁	百万円	%	%	百万円	%	%			百万円	%	%	
		民間	3,854	79.6		4,083	75.8		228	5.9	6,175	83.1		
		計	990	20.4		1,300	24.2		310	31.3	1,253	16.9		
		計	4,845	100.0	42.5	5,384	100.0	31.8	538	11.1	7,428	100.0	41.8	
	建築	官公庁	3,143	47.9		2,028	17.6		△ 1,114	△ 35.5	3,809	36.8		
		民間	3,415	52.1		9,529	82.4		6,114	179.0	6,532	63.2		
		計	6,558	100.0	57.5	11,557	100.0	68.2	4,999	76.2	10,342	100.0	58.2	
		計	6,998	61.4		6,111	36.1		△ 886	△ 12.7	9,984	56.2		
		民間	4,405	38.6		10,830	63.9		6,424	145.8	7,785	43.8		
		計	11,404	100.0	100.0	16,942	100.0	100.0	5,537	48.6	17,770	100.0	100.0	
	完成工事高	土木	官公庁	5,187	80.7		5,130	88.5		△ 57	△ 1.1	8,774	81.0	
			民間	1,241	19.3		667	11.5		△ 574	△ 46.2	2,061	19.0	
計			6,429	100.0	43.0	5,797	100.0	38.5	△ 631	△ 9.8	10,835	100.0	45.9	
建築		官公庁	1,379	16.2		2,733	29.6		1,354	98.2	3,990	31.3		
		民間	7,158	83.8		6,514	70.4		△ 644	△ 9.0	8,768	68.7		
		計	8,538	100.0	57.0	9,248	100.0	61.5	709	8.3	12,758	100.0	54.1	
	計	6,566	43.9		7,863	52.3		1,297	19.8	12,764	54.1			
	民間	8,400	56.1		7,182	47.7		△ 1,218	△ 14.5	10,829	45.9			
	計	14,967	100.0	100.0	15,045	100.0	100.0	78	0.5	23,594	100.0	100.0		
繰越工事高	土木	官公庁	6,900	91.9		4,586	87.0		△ 2,313	△ 33.5	5,633	99.1		
		民間	608	8.1		684	13.0		76	12.5	51	0.9		
		計	7,508	100.0	49.5	5,271	100.0	35.6	△ 2,237	△ 29.8	5,685	100.0	44.1	
	建築	官公庁	4,521	59.1		1,871	19.7		△ 2,650	△ 58.6	2,576	35.7		
		民間	3,129	40.9		7,652	80.3		4,522	144.5	4,637	64.3		
		計	7,650	100.0	50.5	9,523	100.0	64.4	1,872	24.5	7,213	100.0	55.9	
	計	11,421	75.3		6,458	43.7		△ 4,963	△ 43.5	8,210	63.7			
	民間	3,737	24.7		8,336	56.3		4,599	123.1	4,688	36.3			
	計	15,159	100.0	100.0	14,795	100.0	100.0	△ 364	△ 2.4	12,899	100.0	100.0		